

NEWS RELEASE

平成 23 年 1 月 31 日

市光工業株式会社

ICK1102

市光工業株式会社

ハイマウントストップランプ付小型カラーカメラを 2 月より発売開始

～小型化によりカメラ、ランプの車両中央部への同時装着を可能とし
小型・軽トラックへのハイマウントストップランプ搭載義務化に対応～

大手自動車部品メーカーの市光工業株式会社（本社：神奈川県伊勢原市板戸、代表取締役社長：オードバディアリ ORDOOBADI A1i、以下 市光工業）では、車載用後方確認システム「セーフティビジョン SAFETY VISION」シリーズとして、ハイマウントストップランプ付小型カラーカメラ「HC-350A」を 2 月より販売開始します。

2010 年 1 月より、国土交通省の保安基準改正により、小型・軽トラックを含む総重量 3.5t 未満の新型車は、車両後方上部に搭載されるハイマウントストップランプ（補助制動灯）の装着が義務化されました。ハイマウントストップランプは、車両の中央に取り付けるよう定められていますが、装着位置が後方確認用のカメラと重なってしまう問題がありました。ランプとカメラ両方の技術を有す市光工業では、ハイマウントストップランプ付小型カラーカメラ「HC-350A」を開発するにあたって、ハイマウントストップランプを小型化し、従来不可能であったカメラとハイマウントストップランプの車両中央部への同時装着を可能としました。

「HC-350A」は、カメラとハイマウントランプが、外部の衝撃から各ユニットを守るバンパー機能をはたすプロテクターにより一体化されています。また、一般的にトラック後方上部のひさし部分は 5 cm ほどせり出しており、同社は、カメラとランプを一体化させた状態でも高さや奥行きが 5 cm 以内に収まるように同製品を設計しました。

同製品は、2 月より、カーディーラーや代理店、架装会社等を中心に、希望小売価格 53,000 円（税込）で販売されます。市光工業の車載用後方確認システム「SAFETY VISION」は、ルームミラー型モニターシステムとして、すでに国内トラック市場で 40%以上の市場シェア（同社調べ）を誇っています。同社は、この度新たに商用車用のハイマウント

ランプ一体型の小型カメラの販売を開始することで、競合他社との差別化と小型・軽トラック市場での拡販を図り、年間7,200セットの販売を目指します。

なお、ハイマウントストップランプ付小型カラーカメラ「HC-350A」に関する概要は別記の通りです。

(参考)

<市光工業とは>

市光工業株式会社は、1903年に創業した、自動車用ランプ、ミラー、その他自動車部品の開発、設計、製造、販売を行う専門メーカーです。1932年には初代ダットサンにヘッドランプを装着し、日本初のプロジェクターヘッドランプや世界初の電動格納式ドアミラーを製品化、現在も次世代の超低消費電力LEDヘッドランプなど独自の製品開発を行っており、トヨタや日産をはじめとする国内全ての自動車メーカー及び海外メーカー、アフターマーケット向けに製品を供給しています。市光グループは、国内にテクニカルセンターを含め10カ所の拠点、中国やマレーシア等アジアを中心に6つの海外拠点を有しており、総従業員数は4,704名(2010年9月末現在)です。国内において、自動車用ランプで約19%、ミラーで約15%の市場シェアを誇っています。

<本件に関するお問い合わせ先>

一般の方からの問い合わせ先

市光工業株式会社
広報担当 金子
TEL : 0463-96-1442

報道関係からの問い合わせ先

市光工業株式会社
広報担当 金子
TEL : 0463-96-1442

(株)VAインターナショナル
田中/亀有
TEL : 03-3499-0016
FAX : 03-3499-0017

市光工業株式会社
ハイマウントストップランプ付小型カラーカメラ「HC-350A」
概要



ハイマウントストップランプ付小型カラーカメラ「HC-350A」の製品イメージ

商品名	ハイマウントストップランプ付小型カラーカメラ「HC-350A」
構成部品	<ul style="list-style-type: none">・小型カラーカメラ (KC-350A)・ハイマウントストップランプ・プロテクター・その他ボルト、ナット 等
外形寸法	幅 86×高さ 19×奥行 35mm (ランプ部)
電源電圧	12V/24V
対応車種	総重量 3.5t 未満の小型トラック、軽トラック、ライトバン等の商用車
希望小売価格	53,000 円 (税込)
販売店	カーディーラー、代理店、架装会社 等

以上